

高木  
山田 様

4月4日 1962

去る3月7日及び3月30日の集りで話し合った内容の  
大筋をまとめ、皆様へのメモとして御手許にお届けします。  
このメモは *internal use only* という申し合せになっています  
から、その真御含みおき下さい。

3月7日 午後5-9時 神田学士会館  
出席者 湯川, 朝永, 坂田, 宮沢, 田中, 谷川, 福島,  
藤本, 小川, 小沼, 豊田

1. Russel-Einstein 声明の精神を日本の国内で生かすため,  
"日本版 Pugwash 会議" と開く。
2. COSWA (世界 Pugwash 会議の正式名) のよい面を積極的に  
とり入れる。
3. COSWA のように 大型, 小型の会議と随時開く。
4. 本1回は小型会議とし  
5月 7, 8, 9日 堅田 (滋賀県) の東洋軒寮で  
10~20名 合宿して行う。出来れば9月の COSWA への message につくる。
5. 費用は原則として 参加者の自己負担とする。
6. この会議は Pugwash 精神を支持する 科学者が  
10人の資格で参加するもので、特定の会 (会則等) と  
つくらない。
7. 財団などはつくらない。
8. 本1回の 堅田会議の参加者の候補として下記の方が  
話題に上った。

湯川, 朝永, 坂田, 江上, 茅, 菊池, 田島, 三宅 福島,  
宮沢, 谷川, 田中, 大内, 平塚, 我妻, 桑原, 川端, 大伴  
事の連絡係として 南原,  
豊田, 藤本, 小川, 小沼 (東京)  
高木, 山田 (京都)

9. 講演題目, 講演者名 とは 下記の案が承認された。

- Pugwash 精神 湯川
- Pugwash 会議の経過, 小口の役割, 朝永
- 核兵器の非人道性 田中
- 原子時代の道徳 谷川
- 放射性降下物の現状 田島
- 日本憲法と平和の問題 宮沢

10. 事業連絡先は  
東京都中島区池袋 立教大学理学部 豊田利幸  
(電 983-0111)

11. 次回は 4月18日(水) 午後5時 本館学芸会館

3月30日 午後5:30 - 7時 立教大学理学部  
出席者 朝永, 坂田, 宮沢, 田島, 藤本, 小川, 豊田

1. 参加候補者の交渉経過報告

- 田島, 桑原 ほとんど確定
- 大内, 平塚 趣旨に賛成, しかし健康上の理由で才1回会議には出席不可
- 三宅 在外中のため未交渉
- 茅 趣旨に賛成, しかし才1回会議の頃 外口出張予定
- 江上 ほぼ確定, なるべく早く確める
- 我妻 これから交渉
- 川端, 大伴 これから交渉

2. 豊田より 3月20日 基研(京大)での集りの報告

湯川, 坂田を中心にして 約1時間 討論

- (i) 事業連絡係は 坂, 大槻 (名古屋)  
小川(修三) (広島)

を追加する。

- (ii) Russel への湯川への書翰 (Russel Einstein 声明<sup>英文</sup>と含む) の copy 作成 配布

(iii) 豊田への事業(12.01号)の打合せ

- (iv) 湯川, 朝永, 坂田より呼びかけの手紙とつきたりどうか

3. 大内, 平塚 両氏には紙上参加の形で加っていただく。  
紙上参加, article だけの参加等の技術的な面は  
事の連絡係で検討し, 4月18日までに果を出す。
4. 4月18日の集りは準備会の性格をもつてである。  
すなわち, 呼びかけの手紙, message の雛型, 及び  
それらに盛り込む内容をその集りで検討する。
5. 豊田会議は本来3日ほど合宿することが望ましいが  
各自の都合を4月18日までに豊田まで連絡する。

以上簡単ですが, Xモとして御知らせします。なお4月18日の  
集りの御出席の有無を4月17日までに豊田まで御一報下さい。

豊田利彦

同封書類

1. オ9回 Pugwash 会議の招待状の写し
2. オ10回 " " " " " "
3. Russell  $\leftrightarrow$  Yukawa 書翰 (Russell-Einstein 声明) 写し
4. Blackett の論文 (New Statesman 2 March 1962 84)
5. オ7.8回 Pugwash 会議 声明